平成28年度　宮古商業高等学校
-学校経営計画-

【 重点目標 】

1　学習指導の充実
基礎基本の定着を図り、観点別評価を実施し、分かる授業の工夫と学力向上を目指す。
（１）教師：生徒の学習意欲を高めることを重視し、生徒参加型授業（言語活動）を取り入れ、分かりやすい授業の工夫と改善を行う。
①　教員相互で授業を見られるよう公開授業を行う教師の割合：100％
②　授業内容の理解を促進する課題を計画的に出す割合：65％
（２）生徒：自ら進んで学習に取り組み、家庭学習及び読書の習慣を身に付ける。
①　家庭学習を１時間以上行う割合：50％以上
②　授業規律の確立：ベル着100％、提出物100％
③　授業内容が分かる生徒の割合：80％
④　基礎力確認調査の英語・数学の目標正答率：55％
（３）資格取得への計画的な取り組み。（教科科目の目標や定着度、理解度の確認）
①　教科学習目標の達成：１年は全員基本の３級（初級）及び２級（中級）を取得する。
②　上級資格への積極的な挑戦：２・３年生は上級資格に挑戦し、卒業までに１種目は１級（上級）以上を取得する：80％以上

2　生徒指導の充実
創立97年の歴史と伝統を引継ぎ、愛校心とプライドを身に付け、生徒が主体となって活動できる学校を目指す。
（１）生徒会活動や部活動、ボランティア活動の活性化を推進する。
①　部活動参加率：100％
②　生徒会活動の満足度：80％
③　ボランティア活動参加率：70％
④　県大会ベスト８以上の上位進出：５つ以上の部
（２）道徳教育を推進し、豊かな心を育む教育の充実を図る。
自分にはよいところがあると思っている生徒の割合：65％
（３）生活指導や交通安全指導の徹底を図る。
交通事故を含め指導案件：０件
（４）お互いが尊重し合って学校生活を送ることができるよう、いじめが起こらない健全な生活を支援する。

3　進路指導の充実
進路目標達成に向けて、キャリア教育を推進する。
（１）将来の自分を見据えた進路指導を行う。
３年生の進路達成率：100％
（２）本校生の学評定等と合格実績の統計資料の分析により具体的到達目標を設定させると共にその可能性を求める。
（３）１・２年生の三者面談を前後期２回実施し、きめ細かい指導を行い、生徒の自己実現を叶えるため、生徒・保護者・教員の連携を強化する。
（４）キャリア教育としてインターンシップの実施、宮商デパートの充実を図る。
①　インターンシップの実施率：100％
②　宮商デパートの満足度：100％

4　復興教育の充実
「いきる・かかわる・そなえる」を実践する。
（１）非常時災害時に備えて教職員の役割と校内体制の充実を図る。
ＡＥＤ、救急対応訓練の実施：教職員受講率90％
（２）生徒面談を充実し、生徒個々の特別な教育的ニーズの把握や心のケアが必要な生徒への指導・支援に努める。
（３）防災意識の向上を目指し、様々な機会を捉えて防災教育を実施する。
防災に係る講演会や具体的な研修機会の実施全生徒受講

5　学校評価の実施と学校運営の改善
学校評価を実施し、課題解決と改善に取り組み、学校としての目標が達成できるようによりよい教育活動を実現する。
（１）生徒を考え意識した学校運営の推進を図る。
（２）学校Ｗｅｂページやメール配信を活用した学校情報の提供を充実させる。
①　学校メール週１回の配信
②　Ｗｅｂページの随時更新
（３）教職員の積極的な改善提案の奨励と具体的な方策の推進。
（４）いわて希望郷国体の実施年として成功に向け、学校をあげて協力する。
（５）高い専門性と確かな指導力を発揮できるように、必要な研修には積極的に参加する。